

平成18年3月27日



# 平成16年全国消費実態調査

## 家計資産に関する結果速報 (要約)

### 1 1世帯当たりの家計資産は3900万円，うち約56％が宅地資産

二人以上の世帯（全世帯）の平成16年11月末日現在の家計資産額（純資産額）合計は，1世帯当たり3900万円。

内訳をみると，宅地資産が2180万円で資産合計の55.9％を占め，そのほか金融資産が950万円，住宅資産が606万円，耐久消費財等資産が164万円。

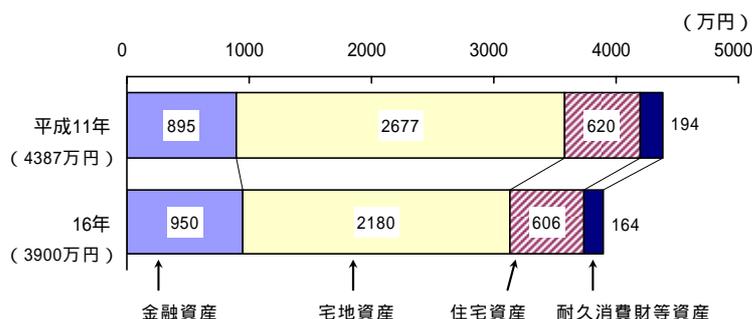
平成11年と比べると，家計資産額は11.1％の減少。内訳をみると，宅地資産が18.6％の減少，耐久消費財等資産が15.3％の減少，住宅資産が2.3％の減少，金融資産は6.1％の増加。

表1 1世帯当たり家計資産額の内訳（二人以上の世帯）

資産の種類	全世帯				勤労者世帯			
	純資産額				純資産額			
	(万円)	構成比 (%)	年収比 (%)	対前回増減率 (%)	(万円)	構成比 (%)	年収比 (%)	対前回増減率 (%)
資産合計	3900	100.0	560.2	-11.1	2867	100.0	385.7	-15.6
金融資産（貯蓄 - 負債）	950	24.4	136.5	6.1	498	17.4	67.0	-9.0
貯蓄現在高	1520	39.0	218.2	4.6	1180	41.1	158.7	2.0
負債現在高	569	14.6	81.7	2.2	682	23.8	91.8	11.9
住宅・宅地資産	2786	71.4	400.1	-15.5	2204	76.9	296.6	-17.2
宅地資産	2180	55.9	313.0	-18.6	1625	56.7	218.7	-21.9
住宅資産	606	15.5	87.0	-2.3	579	20.2	77.9	-0.5
（再掲）現住居・現居住地	2209	56.6	317.3	-18.2	1869	65.2	251.5	-18.7
（再掲）現住居以外・現居住地以外	577	14.8	82.8	-3.2	335	11.7	45.1	-8.2
耐久消費財等資産	164	4.2	23.6	-15.3	165	5.8	22.2	-12.7
耐久消費財	150	3.8	21.6	-10.5	159	5.5	21.3	-9.3
ゴルフ会員権等	14	0.4	2.1	-45.6	6	0.2	0.9	-54.6
年間収入	696	-	-	-8.5	743	-	-	-7.2

（注）純資産額：総資産額のうち住宅資産及び耐久消費財について，経過年数に応じて減価している。

図1 1世帯当たり家計資産額の前回との比較（二人以上の世帯・全世帯）

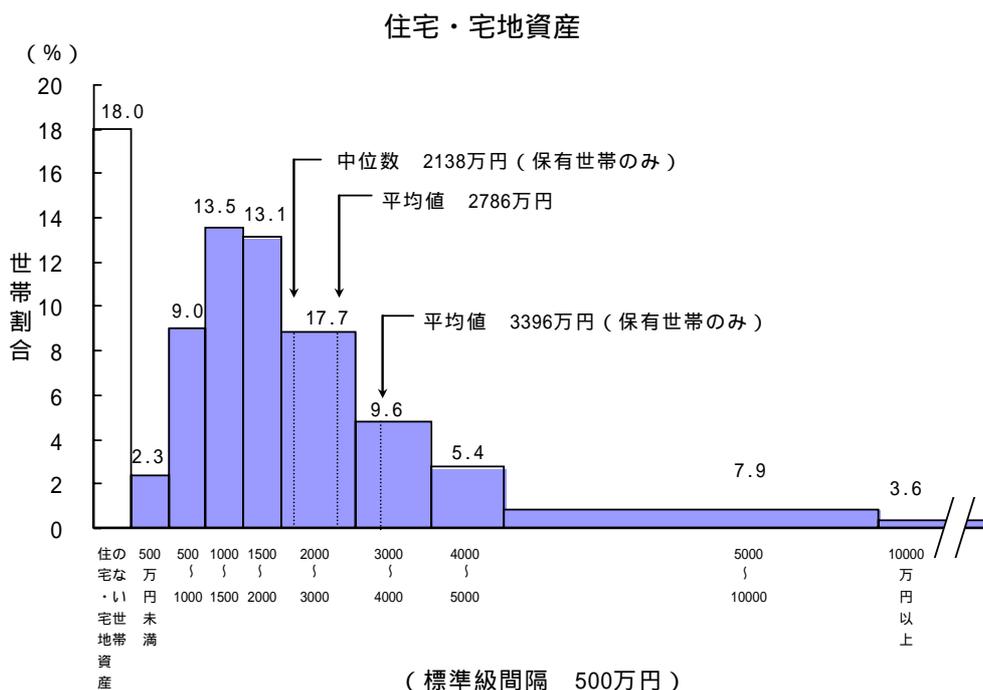
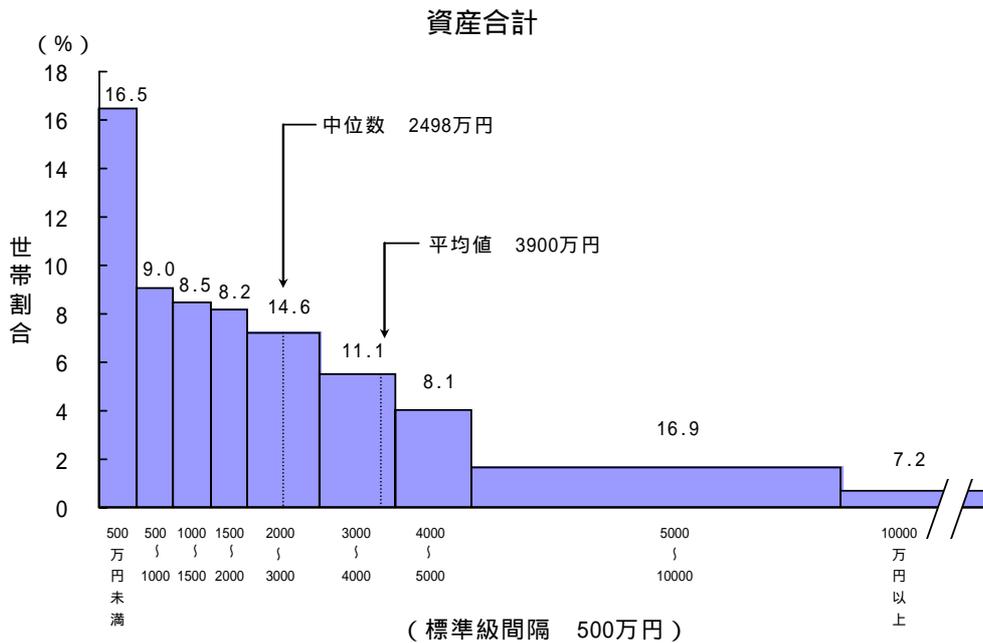


## 2 家計資産額が平均以下の世帯が全体の約3分の2

家計資産額階級別の世帯分布をみると、資産合計で平均値3900万円、中位数2498万円で、平均以下の世帯が全体の66.8%を占め、資産額の低い方に偏った分布。

住宅・宅地資産額階級別の世帯分布をみると、住宅・宅地資産保有世帯の平均値は3396万円、中位数は2138万円。

図2 家計資産額階級別世帯分布（二人以上の世帯・全世帯）



### 3 家計資産額は70歳以上が最も多く，30歳未満の7.3倍

家計資産額を世帯主の年齢階級別にみると，30歳未満が817万円，70歳以上が5961万円などとなっており，年齢階級が高い世帯ほど家計資産額も多い。

平成11年と比べると，資産合計はすべての階級で減少。

図3 世帯主の年齢階級別1世帯当たり家計資産額（二人以上の世帯・全世帯）

(万円)

世帯主の年齢階級	資産合計	金融資産	住宅・宅地資産			耐久消費財等資産			年間収入	
			宅地	住宅	住宅	耐久消費財	ゴルフ会員権等			
資産額（万円）	平均	3900	950	2786	2180	606	164	150	14	696
	30歳未満	817	-8	679	426	253	146	144	2	469
	30歳台	1459	-212	1514	955	559	158	156	2	597
	40歳台	2712	148	2393	1708	685	171	164	7	777
	50歳台	4160	1020	2955	2325	630	186	170	16	878
	60歳台	5556	1884	3499	2877	622	173	145	28	624
	70歳以上	5961	2026	3817	3261	556	117	99	18	542
対前回増減率（%）	平均	-11.1	6.1	-15.5	-18.6	-2.3	-15.3	-10.5	-45.6	-8.5
	30歳未満	-21.2	-113.4	-16.6	-25.3	3.7	-9.8	-10.8	250.0	-2.2
	30歳台	-28.6	-1)	-21.3	-30.5	1.6	-12.1	-10.3	-67.9	-7.8
	40歳台	-20.7	-47.0	-18.7	-24.2	-0.7	-13.8	-9.7	-57.9	-7.6
	50歳台	-16.7	-2.9	-20.6	-23.7	-6.4	-17.2	-10.2	-55.1	-9.2
	60歳台	-12.6	-1.9	-17.4	-20.3	-0.2	-15.2	-4.6	-46.6	-7.4
	70歳以上	-14.2	-1.2	-19.9	-21.7	-7.4	-10.2	-5.3	-30.0	-2.0

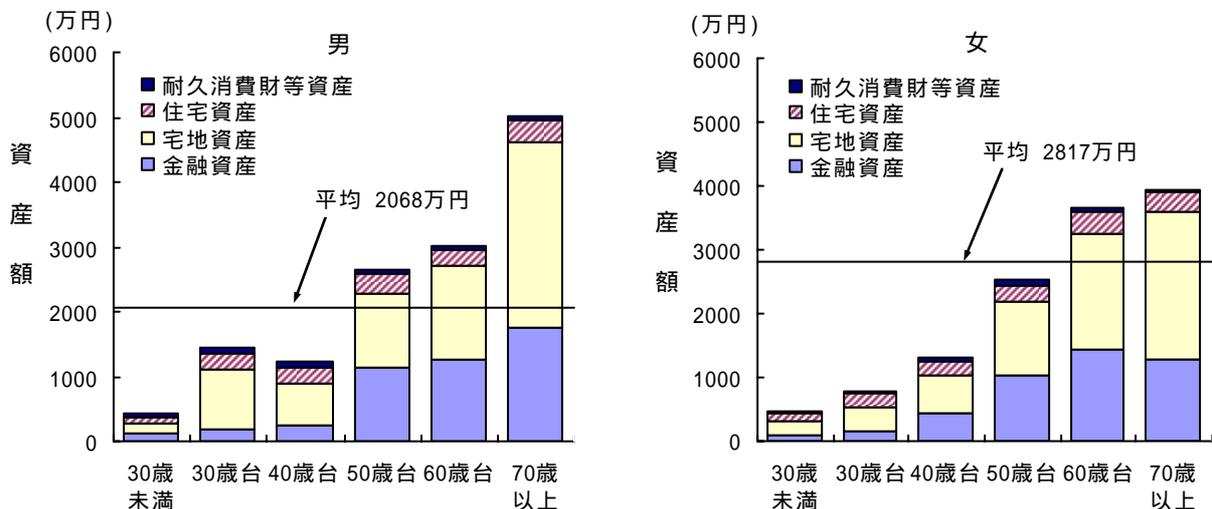
1) 平成11年は-59万円。

### 4 単身世帯の家計資産額も70歳以上が最も多い

単身世帯（全世帯）の1世帯当たりの家計資産額は男性が2068万円，女性が2817万円。

男女，年齢階級別にみると，40歳台の男性を除いて，年齢階級が高くなるに従って資産額も多い。

図4 男女，年齢階級別家計資産額（単身世帯・全世帯）



## 5 年収第 階級の家計資産額は第 階級の3.4倍

家計資産額を年間収入十分位階級別にみると、第 階級が2434万円、第 階級が3369万円、第 階級が8161万円などとなっており、おおむね年間収入が高い世帯ほど家計資産額も多い傾向。

所得階級間格差（第 階級に対する第 階級の家計資産額の比）は3.4倍。資産の種類別にみると、住宅資産が4.2倍、宅地資産が3.5倍、耐久消費財等資産が3.3倍、金融資産が2.6倍。

所得階級間格差を平成11年と比べると、資産合計は3.1倍から3.4倍に拡大。資産の種類別にみると、金融資産、宅地資産、住宅資産は格差が拡大。耐久消費財等資産は格差が縮小。

表2 年間収入十分位階級別1世帯当たり家計資産額（二人以上の世帯・全世帯）

（万円）

年間収入十分位階級	資産合計	金融資産	住宅・宅地資産	住宅・宅地資産		耐久消費財等資産	耐久消費財等資産		年間収入	
				宅地	住宅		一般耐久財	ゴルフ会員権等		
全世帯	平均	3900	950	2786	2180	606	164	150	14	696
		2434	706	1639	1336	304	88	85	3	212
		2849	962	1778	1423	356	110	105	5	334
		3271	1054	2089	1673	416	128	119	9	407
		3334	835	2360	1870	491	139	132	8	480
		3369	801	2417	1899	518	151	141	10	557
		3307	639	2503	1898	605	165	155	10	641
		3518	679	2664	2030	634	175	166	9	742
		3887	789	2907	2216	692	191	176	15	869
		4873	1177	3489	2716	774	207	193	15	1053
		8161	1861	6008	4738	1270	292	231	61	1668
/ (倍) 平成16年 (平成11年)	3.4 (3.1)	2.6 (2.5)	3.7 (3.2)	3.5 (3.1)	4.2 (4.1)	3.3 (4.1)	2.7 (2.9)	24.4 (39.3)	7.9 (7.5)	

### < 内容に関する問い合わせ先 >

総務省統計局統計調査部消費統計課企画指導第二係 担当：中島課長補佐，本橋統計専門職

（電話）03 - 5273 - 1173 （FAX）03 - 5273 - 1495

（Eメール）w-kikaku2@stat.go.jp

・ホームページアドレス <http://www.stat.go.jp/data/zensho/index.htm>

・FAXサービス 03 - 5273 - 1110（文書番号3420）

\* 調査の概要は，統計メールニュースでも配信しています。

メールニュースのお申込みは，統計局ホームページから。